

## FD 関連研修会 参加報告書

主 催	関西大学 教育開発支援センター
企画名称・テーマ	「三者協働型アクティブ・ラーニングの展開」最終結果報告会
開催日時<会場>	2012年1月28日(土) <関西大学千里山キャンパス>
参加者所属	教学部 教育開発課

### 参加報告

関西大学では、平成 21 年度大学教育・学生支援推進事業【テーマ A】大学教育推進プログラムの採択を受け Learning Assistant (以下、LA) によるアクティブ・ラーニングを展開してきており、その最終成果報告会に参加した。(プログラム名称:「三者協働型アクティブ・ラーニングの展開」)

関西大学では、初年次教育の一環として少人数ゼミ「スタディースキルゼミ(通称:スタスキ)」を開講している。スタスキは大学教育を受ける際必要とされるスキルを身につける事を目的としており「ノートのまとめ方」といった基本的なスキルから「課題探求」「ディベート」といった難易度の高いスキルまで幅広く設定されている。

スタスキは1年次から4年次まで履修可能であるので、学習者がどのステージ(学年)でつまづいたとしても、必要となるスキルを扱うスタスキを履修し主体的、能動的な学習を可能としている。

この主体的学びを促すスタスキの特徴は、学びをサポートする LA を設けている事である。LA はスタスキ内でグループワークを中心とした「学習支援者」であり、受講生の学習に対する態度・習慣の育成を支援している。

このように、授業の中に在学生スタッフが支援者として介入することで、教員一人ではなし得なかった丁寧な対応や学習者の能動的な学習姿勢を喚起し成果を残している。

LA が鍵となるこの取り組みでは、LA の能力開発も重要となってくる。実際にスタスキの中でグループワークをファシリテートするのは LA であるので事前に研修をおこなっている。その研修は、ファシリテーションを学ぶ研修からプレゼン技法、授業デザインなど幅広い研修が提供されている。

しかし、実施に研修を受けた LA にその研修の成果を聞いてみると「役に立つものもあったが、実際にやってみると画一的な研修メニューでは対応しきれない難しさがある。」との声が多く聞かれた。

LA は研修をうけつつも、実際、自分の経験の中でスキルを身につけ LA としてのキャリアを形成していくしか無いのである。

本学も縁プログラムで「支援上回生」を育成し入門ゼミなどを展開してきたが、十分な成果が残せたとは言えない。そこには、研修制度が十分でなく OJT 研修型であった事が理由に挙げられるのではないだろうか。

本学も、各学科の文脈に合わせうまく在學生を活用していく事を検討しても良いのではないだろうか。